

(別紙4(2))

事業所名 磐田かつらぎの家

作成日: 平成 29 年 9 月 6 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	・夜間における災害時は従事して職員数が少ない 為に十分な避難誘導行動が取れない	・近隣住民(自治会)の協力を得るために相互協力の関係を強化していかなければならない。	・近隣住民(自治会)との協力関係構築の為に具体的な話し合いを持って具体的な行動計画書を策定し、出来れば協定書を締結する。	3ヶ月
2	49	・外出支援については必要に応じて個別に対応しているが、まとまったグループでの対応はスタッフ間の調整や、充足が困難で具体的対応できていない	・入居者様のご家族の協力を得て、様々なグループ活動を進めていくこととする。	・グループ活動(色々な外食レク、ミニ遠足など)を企画して、家族会や月次報告書など利用してご家族様からの協力を得られるように活動する。	3ヶ月
3	33	病気が重度化した場合については、日頃から家族との間で話し合いをしている。協力医の関係から医療機関への紹介が方針になっているが、突然急変するケースもあり、看取りの心構えが必要になっている。	・看取りの重要性を認識する上でも、全介護職に「看取り研修」内外研修の受講を目標とする。	・全ての介護職員に対して、「看取り研修」の必要性を認識させて、当該研修のスケジュールを策定し、実践する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。